

2026年3月期 通期決算説明会

日東工業株式会社

証券コード：6651

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。従って、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、表記の都合上、公表している数字とは異なる場合があります。

売上高・営業利益・経常利益は過去最高 価格改定・案件価格の改善が寄与

- 前期比増収増益、売上高・営業利益・経常利益は過去最高
- 人件費増加や部材高騰の一方、価格改定や案件価格の改善等が業績寄与
- 前期計上した特別利益の剥落により、純利益は前期比で減益
- 2026年2月9日公表の修正後通期計画は全利益項目において達成

1. 2026年3月期 通期連結決算概要	3
2. トピックス	11
部材価格高騰等の影響、価格改定効果および案件価格の変化	
3. 2027年3月期 通期連結業績予想	13
4. 中期経営計画	25
5. 参考資料	34

1. 2026年3月期 通期連結決算概要

通期 連結決算ハイライト

- 2026年3月期通期業績は増収増益。通期の売上高・営業利益・経常利益としては過去最高
- 売上高は、企業における底堅い設備投資需要やIT投資意欲の高まりを背景に、電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業と流通事業を中心に売上が増加したことにより増収
- 営業利益は人件費増加や部材高騰の一方、価格改定や案件価格の改善等により増益
- 親会社株主に帰属する当期純利益は前期計上の特別利益（約24億円）剥落により減益

(単位：百万円)

	2025/3	2026/3			
	実績	計画	実績	前期比 増減率	計画比 増減率
売上高	184,683	194,000	195,783	+ 6.0%	+ 0.9%
営業利益	13,432	14,500	15,446	+ 15.0%	+ 6.5%
経常利益	13,516	14,900	16,260	+ 20.3%	+ 9.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,097	10,000	11,493	△5.0%	+ 14.9%

事業セグメントについて

電子部品関連 製造事業

電磁波環境コンポーネント、精密エンジニアリングコンポーネント等の製造、販売



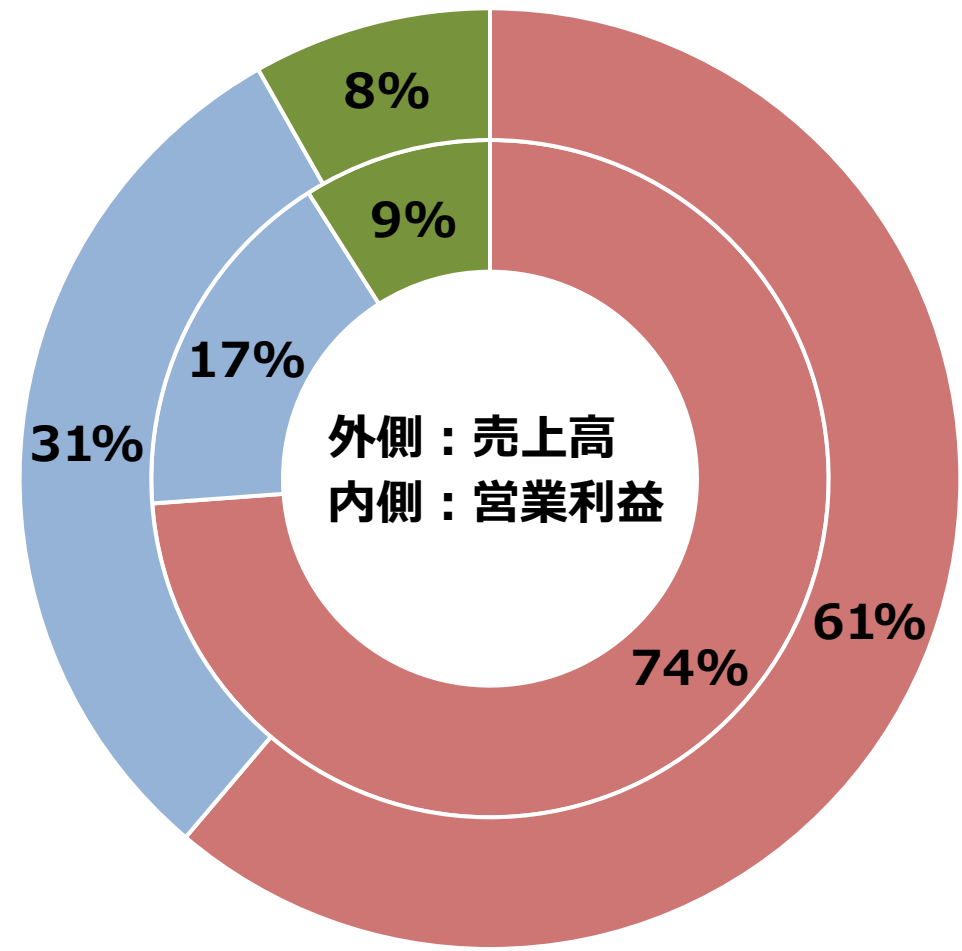
電気・情報インフラ関連 流通事業

情報通信機器および部材の仕入、販売等



電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業

配・分電盤、制御盤等の設計、製造、販売および電気設備の設置、保守等の工事事業



※ 四捨五入の関係上、100%とならない場合があります。

通期 セグメント別 決算ハイライト

- 製造・工事・サービス事業は、企業における底堅い設備投資需要や規格変更前の駆け込み需要により増収増益
- 流通事業は、加速するデータセンター建設等企業のIT投資意欲の高まりに伴う関連部材の売上増加により増収増益
- 電子部品事業は、国内自動車市場における案件獲得やエアコン関連市場の需要が堅調に推移したことから増収増益

(単位：百万円)

セグメント別		2025/3	2026/3			
		実績	計画	実績	前期比 増減率	計画比 増減率
売上高	製造・工事・サービス事業	114,230	120,000	119,877	+ 4.9%	△0.1%
	流通事業	56,046	59,000	59,956	+ 7.0%	+ 1.6%
	電子部品事業	14,406	15,000	15,949	+ 10.7%	+ 6.3%
	合計	184,683	194,000	195,783	+ 6.0%	+ 0.9%
営業利益	製造・工事・サービス事業	10,253	—	11,306	+ 10.3%	—
	流通事業	2,089	—	2,628	+ 25.8%	—
	電子部品事業	959	—	1,379	+ 43.8%	—
	合計	13,432	14,500	15,446	+ 15.0%	+ 6.5%

※本スライド以降、セグメント名は略して表記しています。

通期 製造・工事・サービス事業（部門別売上高）

- 配電盤部門は、底堅い設備投資需要や規格変更前の駆け込み需要により高圧受電設備の売上が増加した結果、増収
- キャビネット部門は、前期に計上した案件の剥落があった一方、価格改定効果により売上が増加した結果、増収
- 遮・開・パ・他部門は、価格改定効果により売上が増加した結果、増収
- 工事・サービス部門は、再生可能エネルギー導入工事案件が増加するも、前期に計上した大型案件の剥落により減収

(単位：百万円)

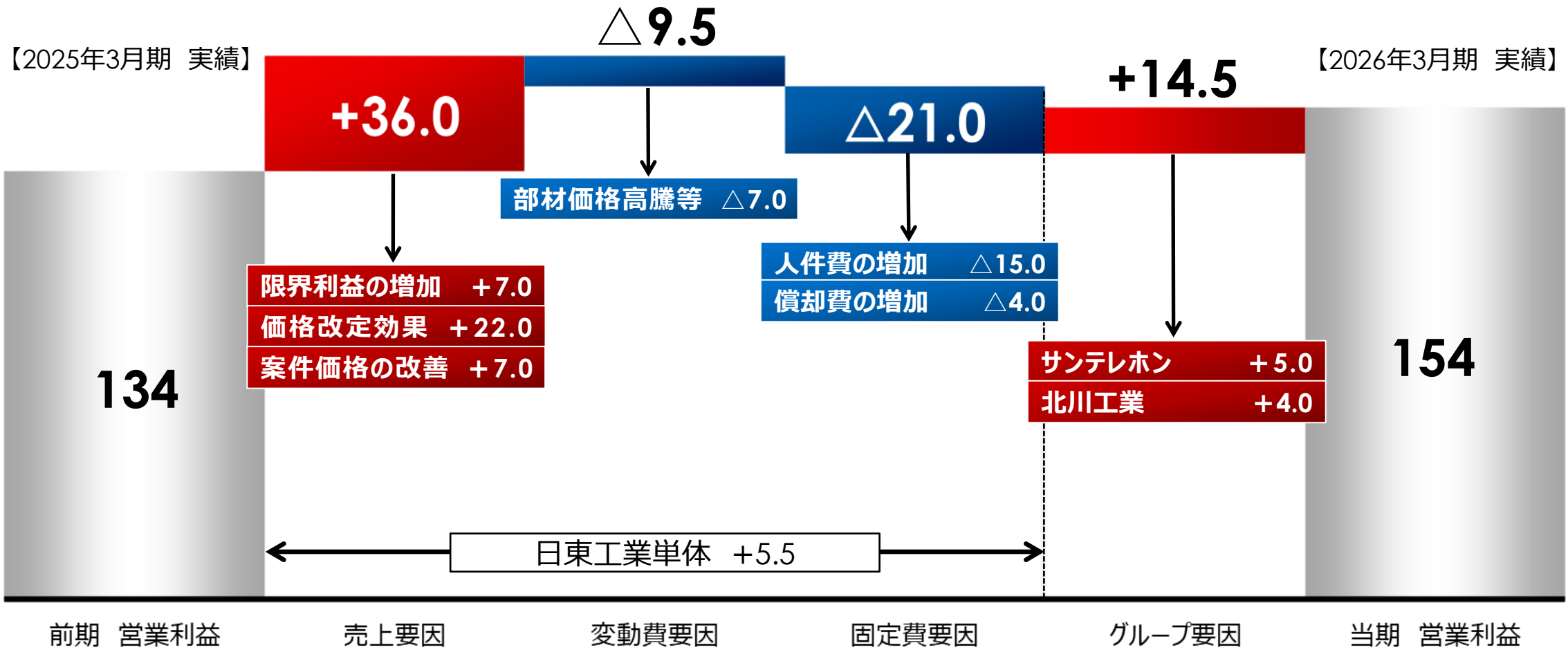
部門別 売上高		2025/3	2026/3			
		実績	計画	実績	前期比 増減率	計画比 増減率
製造・工事 サービス事業	配電盤	68,681	72,700	72,981	+ 6.3%	+ 0.4%
	キャビネット	23,340	24,200	24,009	+ 2.9%	△0.8%
	遮断器・開閉器・パーツ・その他	16,901	17,700	17,607	+ 4.2%	△0.5%
	工事・サービス	5,307	5,400	5,278	△0.5%	△2.3%
合計		114,230 (4,518)	120,000	119,877 (5,282)	+ 4.9%	△0.1%
連結全体合計		184,683	194,000	195,783	+ 6.0%	+ 0.9%
連結売上構成比		61.9%	61.9%	61.2%	△0.7%	△0.7%

() 内はセグメント間の内部売上高

通期 連結営業利益の増減要因

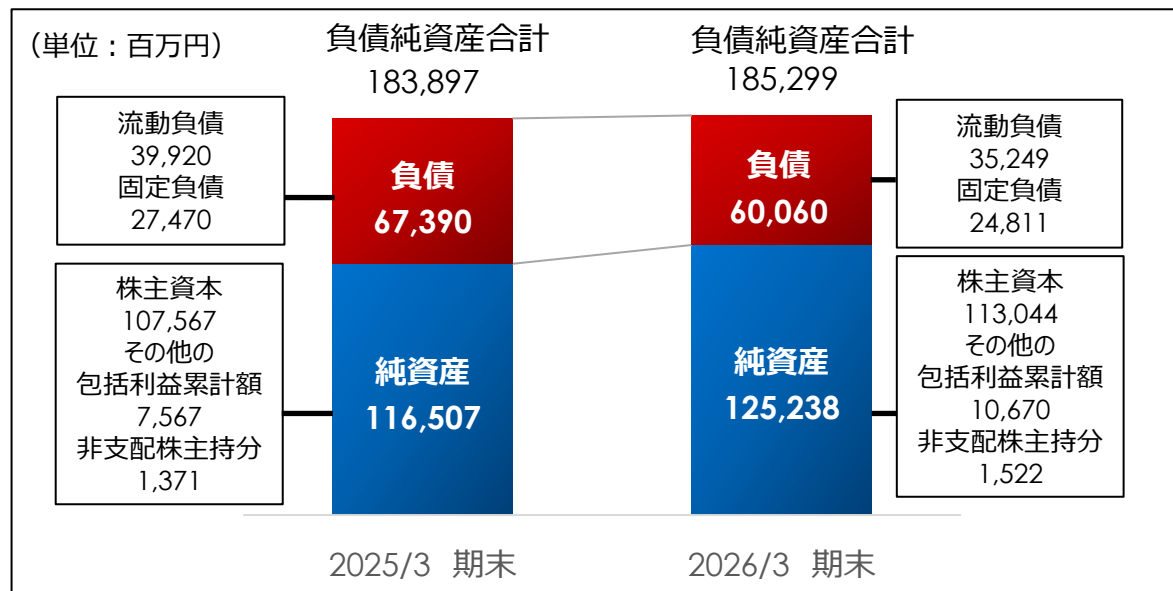
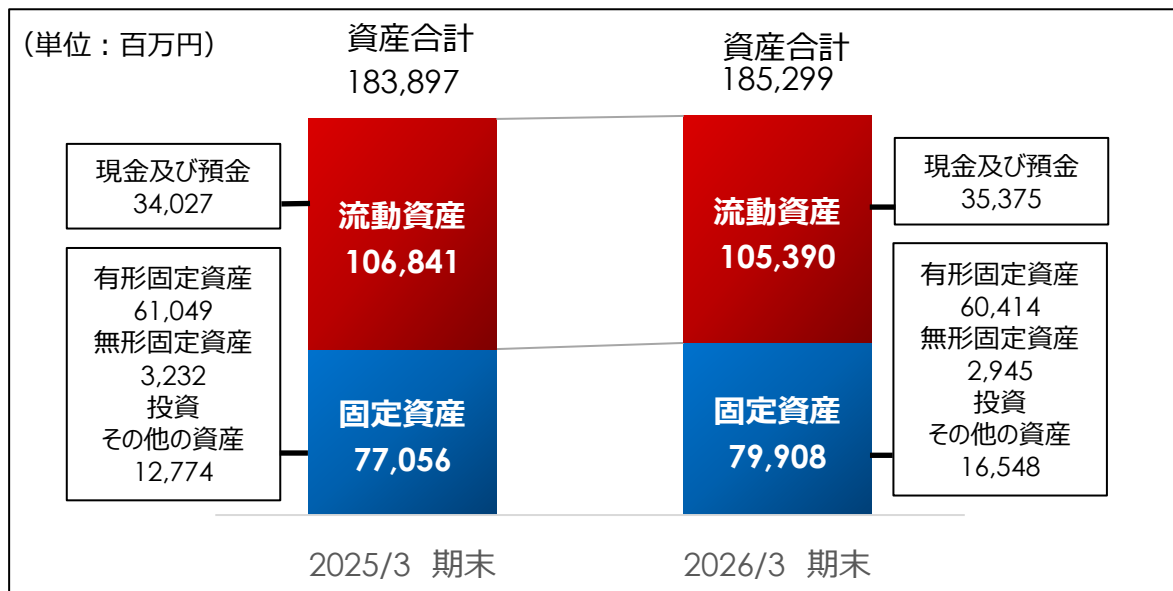
- 日東工業単体要因では、人件費増加や部材高騰の一方、価格改定効果や案件価格の改善により増益
- グループ要因では、サンテレホン、北川工業などが堅調に推移し増益

(単位：億円)



通期 連結財政状態の概要

- 資産は投資有価証券や退職給付に係る資産が増加したことにより増加
- 負債純資産は長期借入金が増加した一方、当期純利益の計上により増加



<主な増減内容>

■ 資産

棚卸資産の減少	△2,418
建物及び構築物の減少	△1,121
投資有価証券の増加	+1,947
退職給付に係る資産の増加	+2,076

■ 負債

長期借入金の減少	△4,010
----------	--------

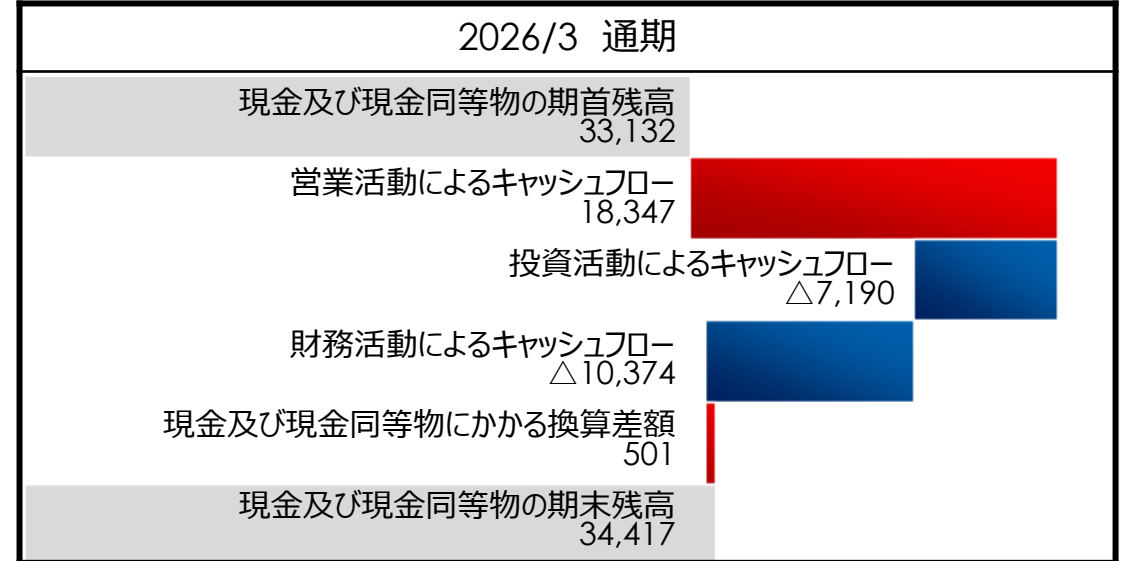
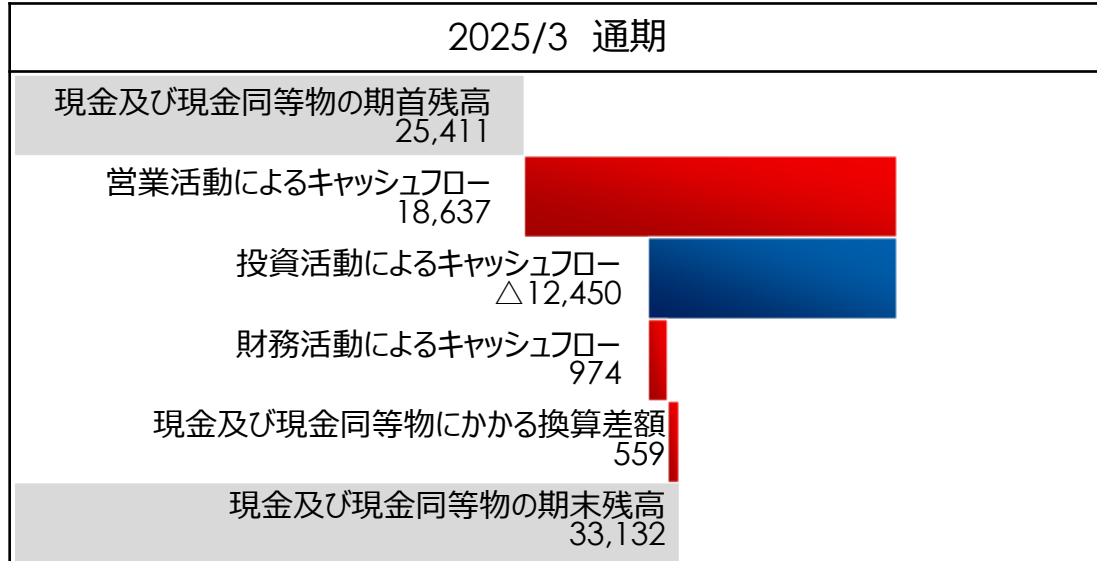
■ 純資産

当期純利益の計上	+11,493
剰余金の配当	△6,009
その他の包括利益累計額の増加	+3,102

通期 連結キャッシュ・フロー計算書

■ 現金同等物は、期首残高比 + 1,284百万円の34,417百万円となる

(単位：百万円)



<2025/3 通期 主な要因>

■ 投資活動によるCF

固定資産の売却による収入	+ 487
固定資産の取得による支出	△9,117

■ 財務活動によるCF

長期借入れによる収入	+ 12,000
配当金の支払額	△8,439

<2026/3 通期 主な要因>

■ 投資活動によるCF

固定資産の取得による支出	△5,757
--------------	--------

■ 財務活動によるCF

長期借入金の返済による支出	△4,022
配当金の支払額	△6,021

2. トピックス

部材価格高騰等の影響、価格改定効果および案件価格の変化

- 部材価格高騰等に関しては通期で7.0億円の営業利益を押し下げ
- 価格改定（第四弾）を2025年10月より実施。通期で22億円の営業利益を押し上げ
- 案件価格は高圧受電設備の駆け込み需要により通期で7.0億円の営業利益を押し上げ

	通期想定	結果
部材価格高騰等	前年比 △6.5億円 (営業利益に対して)	前年比 △7.0億円
価格改定効果	前年比 +20億円 (営業利益に対して)	前年比 +22億円
案件価格の変化	前年比 +5.0億円 (営業利益に対して)	前年比 +7.0億円

3. 2027年3月期 通期連結業績予想

通期計画の前提① 取り巻く事業環境

グループを取り巻くマクロ環境



- ✓ 企業におけるAI・半導体向け投資がけん引役となり、総じて堅調に推移すると見込む一方、物価の上昇や人材不足の影響は継続し、各種コストの上昇は続くことを見込む
- ✓ 中東情勢の悪化により、樹脂材や塗料の調達において影響がみられるも、足元での影響は限定的。コスト上昇等の影響は通期計画に一定程度織り込むが、長期化によるサプライチェーンの混乱や一層の価格高騰、当業界への影響などは合理的な予測が困難なため織り込まず

日東工業単体を取り巻く事業環境

	通期計画の前提	前提に対するリスク
原材料・部材価格	規格変更に伴う仕入価格上昇および物価高による仕入価格の一段高	為替相場の変動や物価高騰による原材料・部材価格のさらなる高騰
価格改定効果	2025年10月実施の第四弾価格改定効果	資材価格高騰による企業の設備投資意欲や建築需要の冷え込み
高圧受電設備規格変更の影響	次頁（通期計画の前提②）を参照	
人件費 (人的資本への投資を含む)	ベースアップ等人的資本への投資を引き続き実施	-

通期計画の前提② 高圧受電設備の部材規格変更による影響

- コロナ禍後、企業の底堅い設備投資需要を受け、高圧受電設備（配電盤部門）の売上が業績をけん引
- 2026/3月期は2026/4からの規格変更（トッランナー変圧器第三次判断基準*）前の駆け込み需要により、需給ひっ迫
- 2026/3月期の下期に高圧受電設備の製造・出荷が不安定となるも、需要の強さが増収に寄与
- 2027/3月期は駆け込み反動減を見込むも、規格変更後の販売価格上昇による業績寄与は大きく、業績は伸長を見込む

	販売価格		販売数量		売上変化	高圧受電設備
26/3月期 振り返り	<p>↑</p> <p>需要の強さが継続。供給優位が続き、案件価格の改善は想定を上回る</p>	×	<p>↑</p> <p>規格変更前の駆け込みにより増加。変圧器メーカーによる旧規格の早期生産終了に伴う調達懸念が発生したものの、総じて堅調さを維持</p>	=	<p>↗</p>	
27/3月期 見通し	<p>↑</p> <p>新規格変圧器搭載に伴う設計変更により価格は大きく上昇</p>	×	<p>↓</p> <p>新規格の変圧器入荷は順次本格化。前期の駆け込みの反動と価格上昇による買い控え懸念</p>	=	<p>↑</p>	

*トッランナー変圧器第三次判断基準
省エネ法が定める基準。2026/4以降、変圧器メーカーは新省エネ基準を満たさない変圧器は出荷できない。新基準の変圧器はサイズ・価格が共に従来品を上回るため、高圧受電設備は大型化し、製品価格や設置費用は増加する。この設置スペースやコスト増の観点から、26/3月期は業界全体で基準変更を見据えた駆け込み需要が発生し、需給がひっ迫した

【「通期計画の前提」の補足】

第四弾価格改定

- 標準品の全製品群を対象として、2025年10月より価格改定（第四弾）を実施
- 通期で28億円の増益効果を見込む

対象製品群	改定率
キャビネット	約10～15%
プラボックス	約10%
システムラック	約5～10%
光接続箱	約10%
熱関連機器	約10%

対象製品群	改定率
盤用パーツ	約10%
ブレーカ・開閉器	約10%
標準分電盤・制御盤	約2～10%
ホーム分電盤	約15%

人的資本への投資（持続的なベースアップ他）

- 管理職向け株式報酬制度（J-ESOP）の導入（2025年度）
- ベースアップの実施（2026年度）
- 社員持株会奨励金率の引き上げ（2026年度）

通期 連結業績予想

- 売上高は、企業の底堅い設備投資やIT投資需要により増収を計画
- 営業利益は、前期実施の価格改定効果があるものの、各種費用の一段高の影響や高圧受電設備の規格変更に伴う増収効果は限定的となるため上期は減益を見込む。通期では規格変更後の売上が本格化することにより増益を見込む

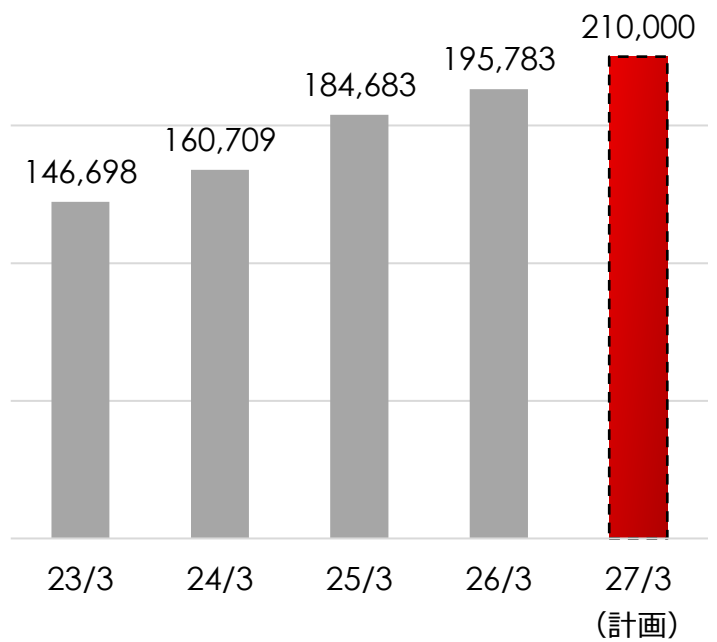
(単位：百万円)

	2026/3		2027/3			
	2Q 実績	通期 実績	2Q 計画	前期比 増減率	通期 計画	前期比 増減率
売上高	88,962	195,783	97,000	+9.0%	210,000	+7.3%
営業利益	5,292	15,446	5,200	△1.7%	16,700	+8.1%
経常利益	5,620	16,260	5,600	△0.4%	17,000	+4.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,424	11,493	3,500	+2.2%	11,600	+0.9%

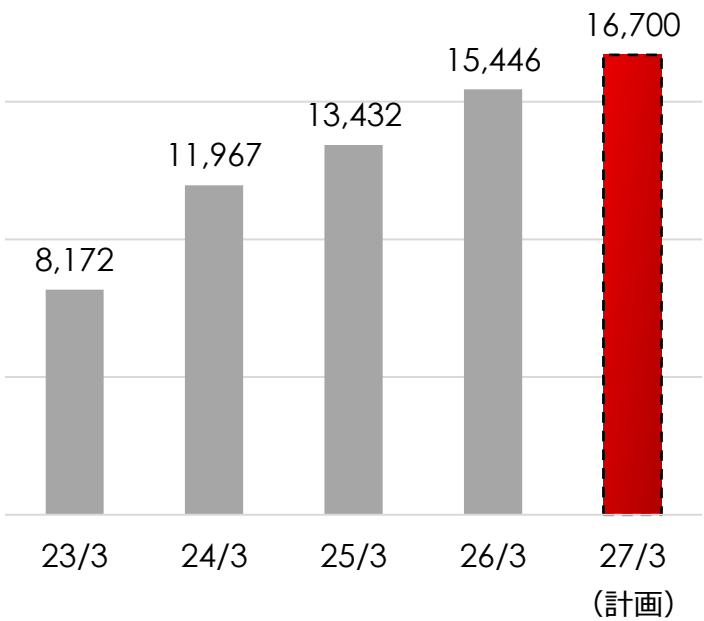
連結経営成績の推移

■ 2027年3月期の計画通り着地すれば、売上高・営業利益は過去最高、当期純利益は過去2番目となる

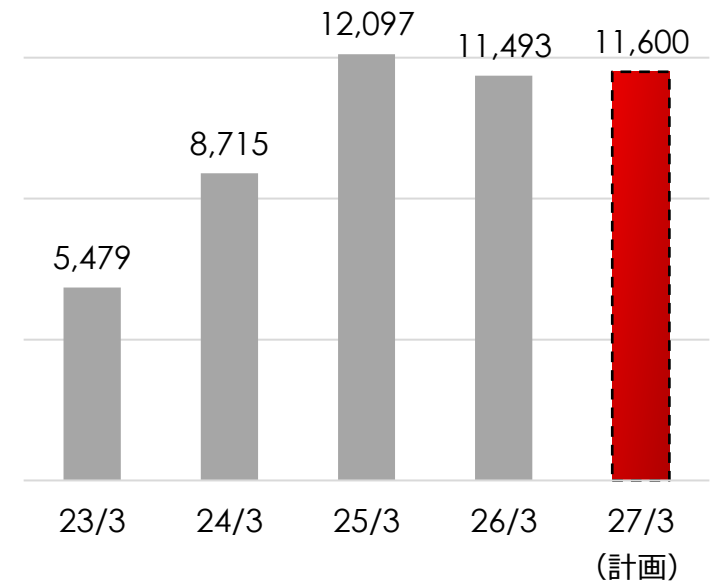
■ 売上高



■ 営業利益



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円)

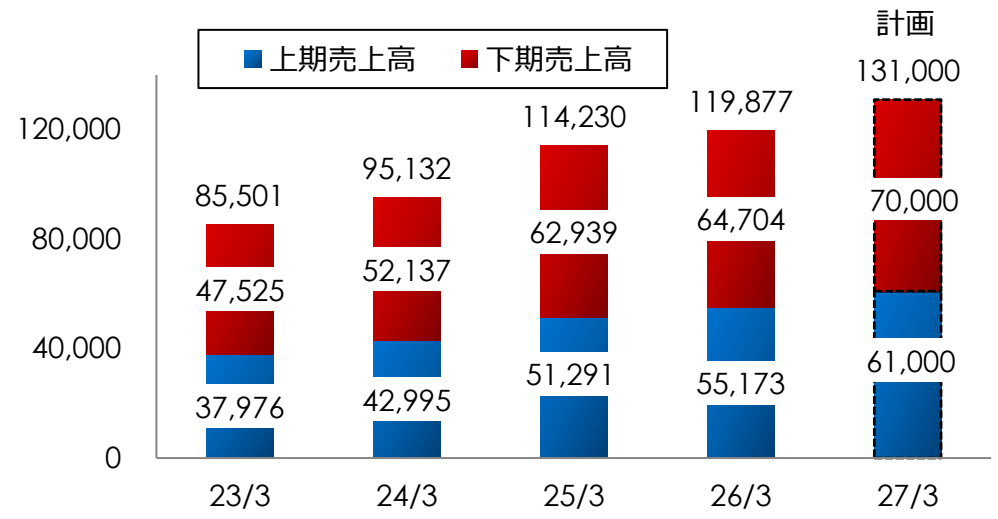


	23/3	24/3	25/3	26/3	27/3 (計画)
売上高	146,698	160,709	184,683	195,783	210,000
営業利益	8,172	11,967	13,432	15,446	16,700
親会社株主に帰属する当期純利益	5,479	8,715	12,097	11,493	11,600

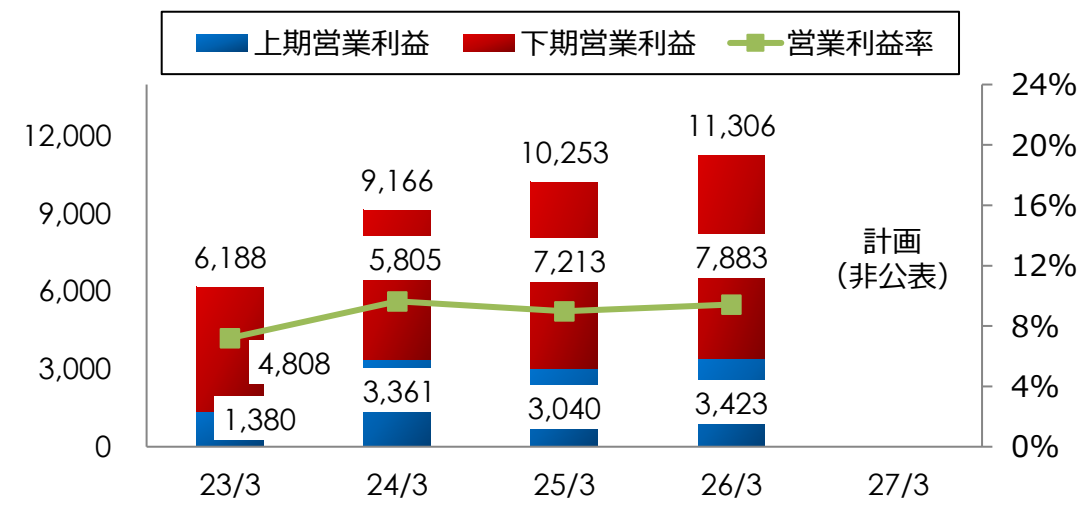
セグメント別 業績予想 (製造・工事・サービス事業)

通期予想 (売上高) 131,000百万円 (前期比 +9.3%)

(単位：百万円)



(単位：百万円)



通期予想

■ 設備投資需要は引き続き堅調に推移するほか、高圧受電設備の部材規格変更に伴う販売価格上昇の効果が大きく寄与することや、テンパール工業の売上拡大により増収を見込む

取り組み

- バリエーション拡充による「スマートオーダー」システムを活用したステンレス製キャビネットや大型キャビネットの売上拡大
- グループ会社間連携による生産体制の最適化、グループシナジーの創出

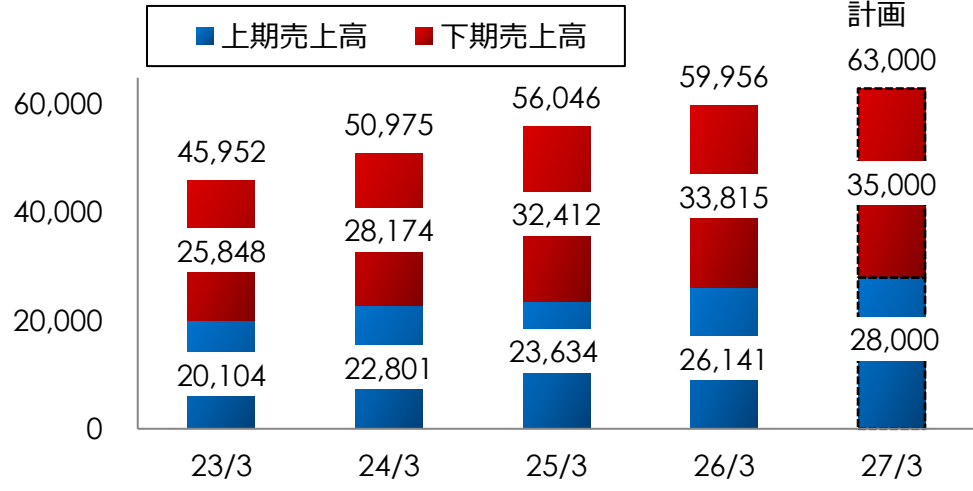
主要グループ会社：通期見通し

会社名	売上 (前期比)	営業利益	グループ利益影響度
日東工業			大
国内 新愛知電機製作所			小
テンパール工業			小
海外 Gathergates Group			小
NITTO KOGYO BM (THAILAND)			小

セグメント別 業績予想 (流通事業)

通期予想 (売上高) 63,000百万円 (前期比 +5.1%)

(単位：百万円)



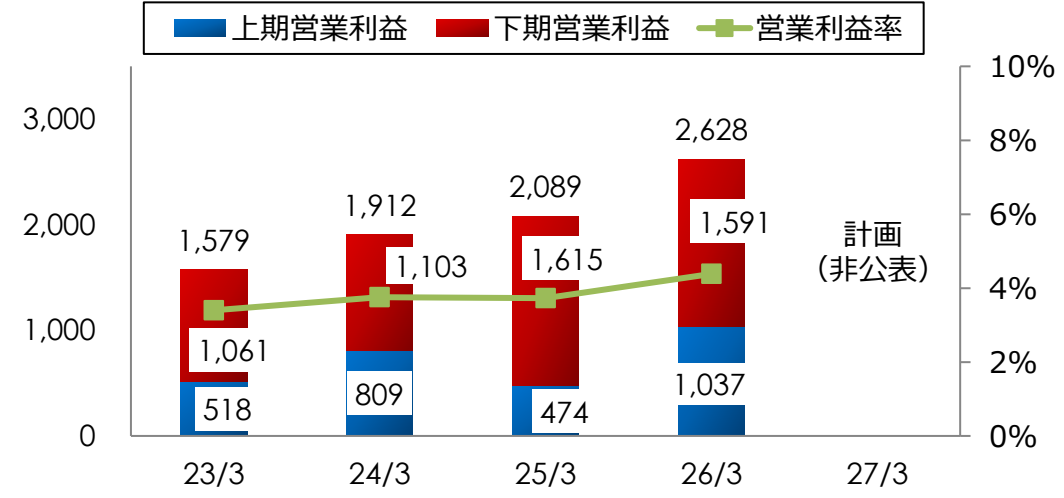
通期予想

■ データセンター建設を始めとしたIT投資需要は引き続き堅調に推移するほか、映像ソリューションの強みを生かしたIA市場やフィジカルソリューション市場等における売上増加により増収を見込む

取り組み

- データセンター市場向け取り扱い商材の拡大加速
- 設計提案から施工までワンストップで対応できる提案力の強化
- タイやベトナムの子会社を中心としたASEAN地域の基盤強化および売上拡大

(単位：百万円)



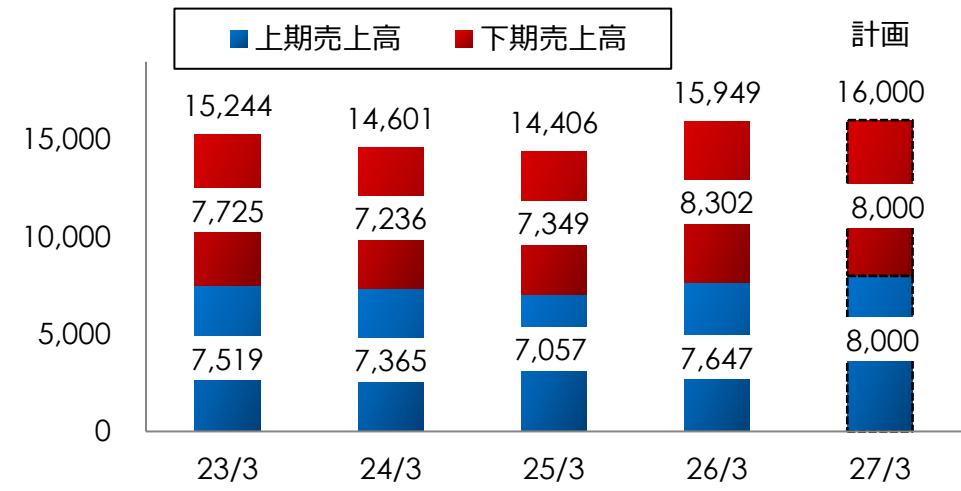
主要グループ会社：通期見通し

会社名	売上 (前期比)	営業利益	グループ利益影響度
国内 サンテレホン	☀️	☁️☀️	中
海外 SOECO	☀️	☀️	小
海外 Master Controls	☔️	☀️	小

セグメント別 業績予想 (電子部品事業)

通期予想 (売上高) 16,000百万円 (前期比 +0.3%)

(単位: 百万円)



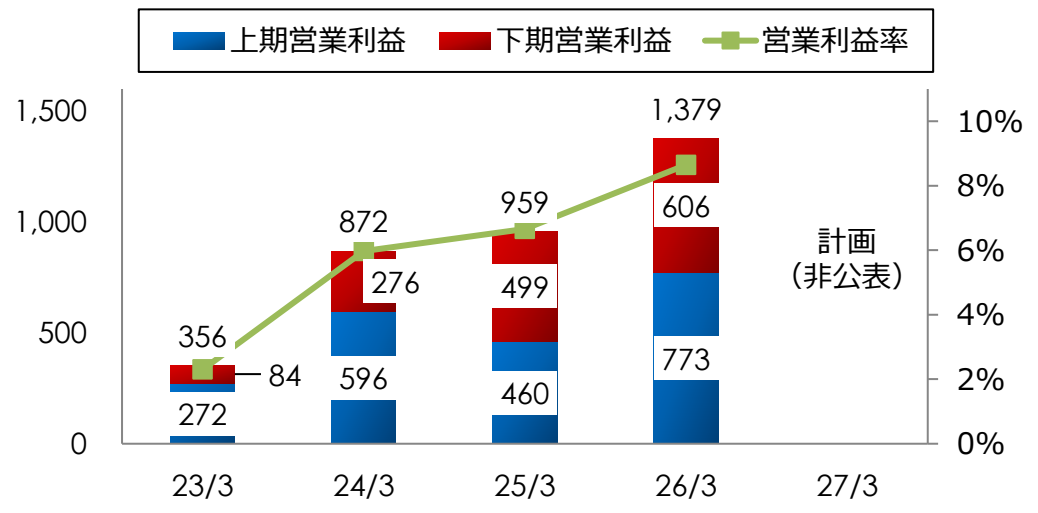
通期予想

- 次世代モビリティやxEVの深化を捉えた搭載部品の拡充による自動車関連市場の売上増加や、半導体需要の拡大が波及する産業機器市場の伸長を取り込むことにより増収となる見込み

取り組み

- 海外アライアンス先へのEMC対策支援を軸に海外ビジネスを強化・拡大
- 重点市場における新製品・次世代製品の市場投入の加速
- グローバルでの品質保証体制の構築

(単位: 百万円)



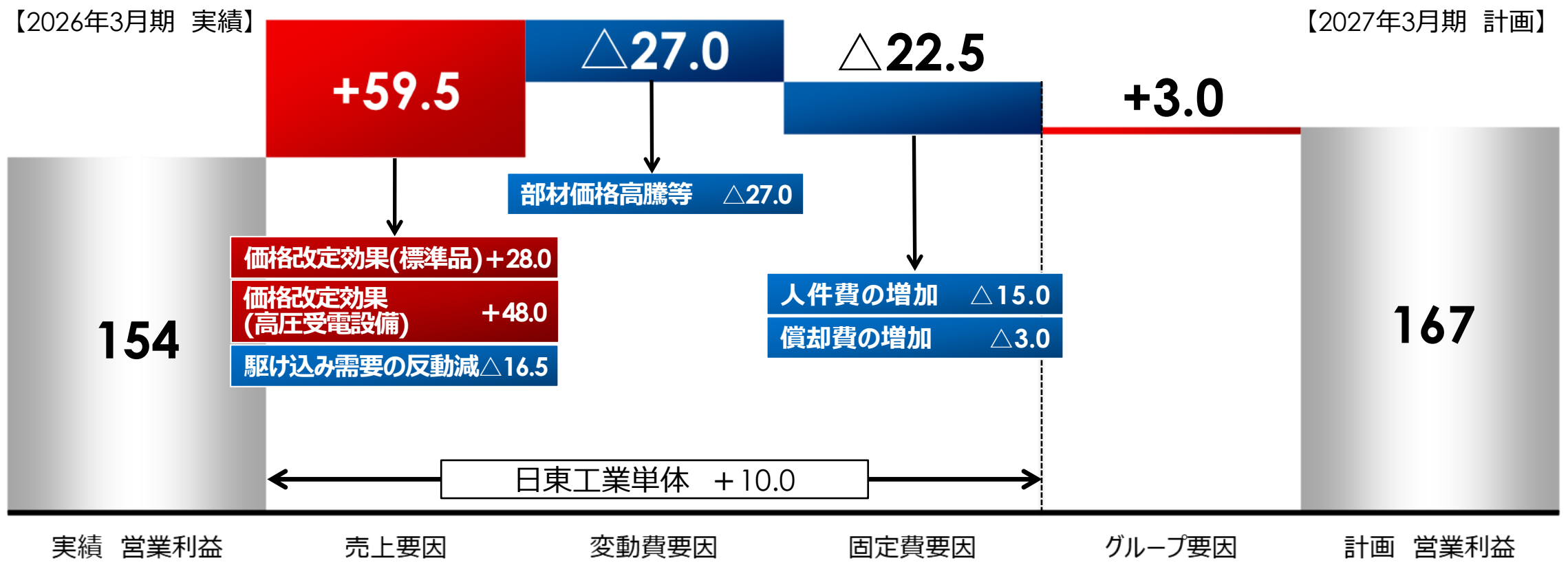
主要グループ会社: 通期見通し

会社名	売上 (前期比)	営業利益	グループ利益 影響度
北川工業			中

通期 連結営業利益の増減要因 (今期予想 前期比)

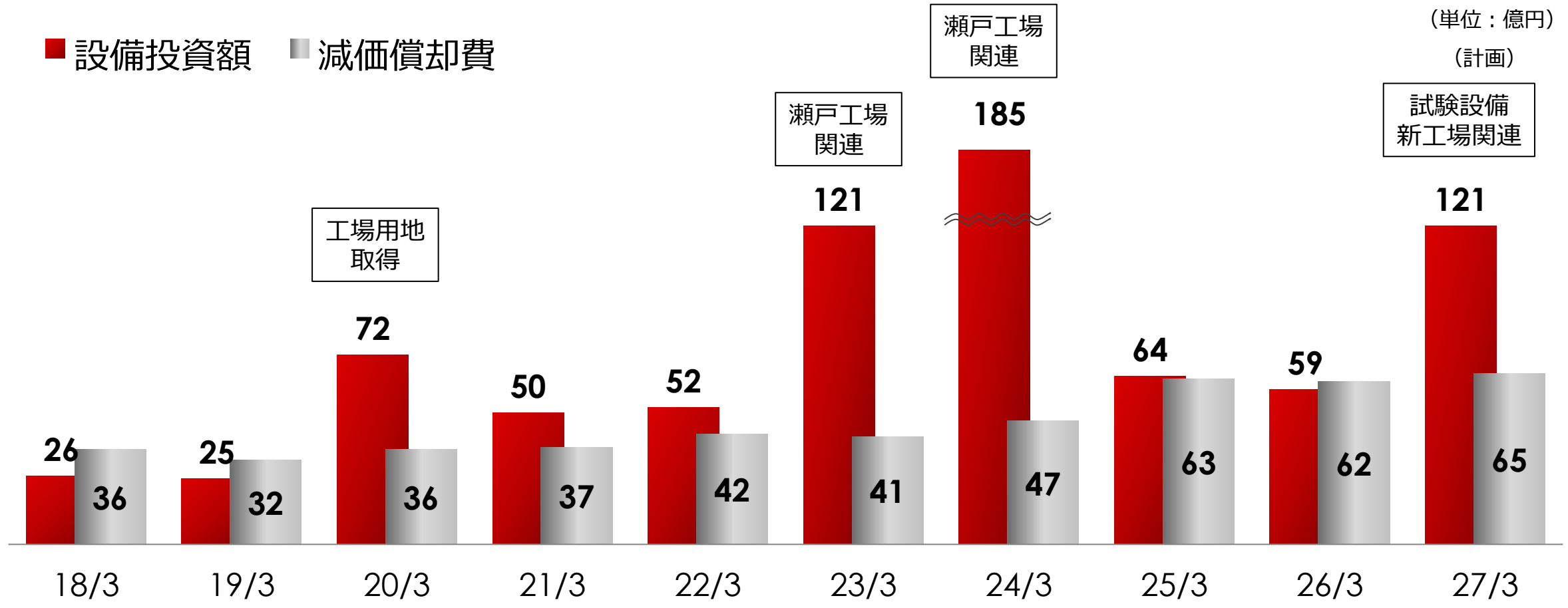
- 2027年3月期の連結営業利益は前年同期比8.1%増の167億円を見込む
- 日東工業単体では、高圧受電設備の駆け込み需要の反動減や、部材費・人件費などの利益押し下げ要因はあるものの、標準品と高圧受電設備の価格改定効果などにより増益を見込む
- グループ要因では、北川工業を中心に底堅く推移することから増益を見込む

(単位：億円)



設備投資額、減価償却費

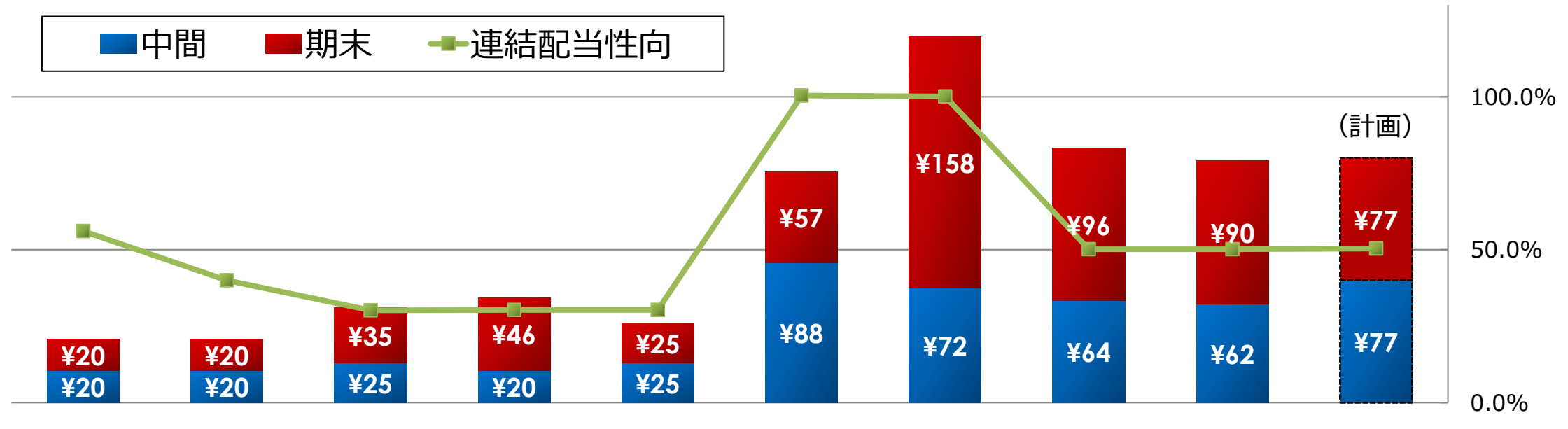
- 2027年3月期は、設備投資計画を121億円、減価償却額62億円を計画
- 短絡試験設備（27年春稼働）や栃木野木工場第2工場建設（28年4月稼働）などの大型投資により倍増を計画
- 来期以降に稼働する投資が多いことから、今期の減価償却費は26/3月期同水準で推移



※1千万円単位を四捨五入しています

配当の状況

- 2025年3月期より、配当方針は配当性向50%、下限DOE4%に設定
- 2026年3月期は、前期計上の特別利益剥落（約24億円）の影響から通期配当金は152円（計画比+20円）
- 2027年3月期は、通期配当金154円、連結配当性向50.4%を計画



	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3	27/3計画
通期配当金	40円	40円	60円	66円	50円	145円	230円	160円	152円	154円
配当性向	56.1%	40.0%	30.2%	30.3%	30.3%	100.4%	100.1%	50.2%	50.2%	50.4%
DOE	2.0%	1.9%	2.8%	2.8%	2.0%	5.5%	8.3%	5.4%	4.8%	-

4. 中期経営計画

再掲

「2026中期経営計画」をご覧ください



長期経営構想 長期成長ストーリー

Mission

地球の未来に「信頼と安心」を届ける

2026中期経営計画



挑戦

機会への対応

変革

リスクへの対応

ビジネスの拡大

社会課題の解決を通じて
世の中に「信頼と安心」を届ける

経営基盤の強化

大きな社会変化にも対応できる
強靱な企業体質を築く

次期
中期経営計画

事業環境
経営環境

環境意識
の高まり

社会・経済
構造の変化

再掲

テクノロジー
の進化

ステーク
ホルダーから
の期待

グループ経営
の高度化

バックキャスト



- 解決すべき社会課題を特定
- 大きな社会変化を伴う未来観・未来像を想定

Vision

誠実に問題解決にとりくみ
新たな価値創造に挑戦しつづける

2021

2023

2024

2026

2027

2029

2030～

ビジネスを進化させる
土台を築く

成長の仕組みを確立する

飛躍的な成長を実現する

成長しつづけるグループになる

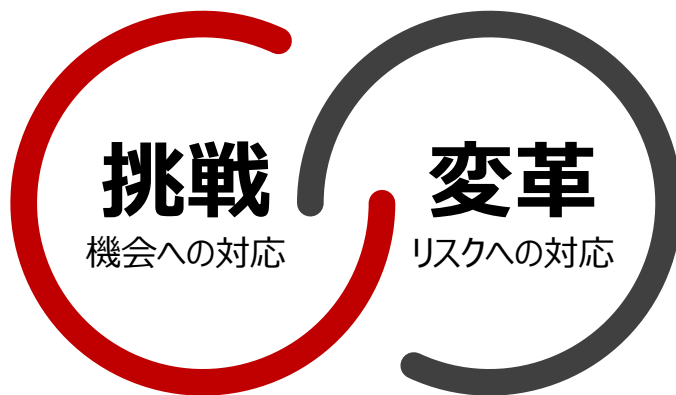
再掲

進化の加速

人の進化 技術の進化 事業の進化 企業の進化 グループの進化
挑戦と変革を繰り返し 進化を遂げる

事業拡大への挑戦 / 積極的な成長投資

- ▶ 既存の市場・業界を越えた新たな事業の創出を目指す
- ▶ 海外市場の展開により事業規模を拡大する
- ▶ 新技術の獲得に向けた取組みを推進する
- ▶ 成長に向けた戦略投資 [M&A含む] を実行する



盤石な事業・経営基盤の構築

- ▶ 既存事業のプロセス（販売・生産）を改革する
- ▶ 様々なリスクに対応した強固なサプライチェーンを構築する
- ▶ 強靱なグループインフラ基盤を築きあげる
- ▶ 事業ポートフォリオマネジメントの実効性向上

2026中期経営計画 財務目標

再掲

前中期経営計画で築き上げた足場[基盤]を使い、事業進化を加速させる3年間
コア事業の更なる強靱化ならびに成長事業への果敢な挑戦を通じ、過去最高の売上高・営業利益の達成を目指す
成長投資と株主還元の最適バランスを追求し資本効率性を高めることで、ROEの持続的向上を実現させる

連結売上高

27年3月期

2,000億円内 海外売上高 200億円
(海外比率) 10%CAGR
7.6%24年3月期 **1,607億円**

(内 海外売上高) 154億円

連結営業利益

27年3月期

150億円

営業利益率 7.5%

CAGR
7.8%24年3月期 **119億円**

営業利益率 7.4%

ROE

27年3月期

9.0%以上24年3月期 **8.3%**

2026中期経営計画 事業ポートフォリオ 成長の方向性

成長性・収益性から各事業の位置づけと方向性を明確にし、事業を推進する

再掲

重点成長事業

電気・情報インフラ関連
流通事業

市場およびサービスの領域を広げることで、
事業規模の拡大を目指す

安定事業

電気・情報インフラ関連
製造・工事・サービス事業

コア事業

強い事業として盤石な基盤を構築するとともに、
先進技術を活用し収益性を高める

将来事業

電子部品関連
製造事業

戦略事業

成長が期待できる市場への積極参入により
規模を拡大し、将来の事業の柱を築く

グローバルに稼ぐ力を高め、まずは規模の拡大を目指し、
長期的に収益性を高める

2026中期経営計画 事業戦略進捗

電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業

グループシナジーの創出に向けた取り組み

グループシナジーの具現化、さらなる拡大へ

- テンパール工業(株)は参画2年目を終え、期初計画を上回る前期比10%の増収
- グループ化に伴う一過性費用の解消の他収益改善が進み、大幅な黒字化を達成
- ブレーカの事業基盤強化に向けた「開発・生産」における協力体制の構築は順調に進展
- 生産の合理化に向けた生産体制の再編を実行

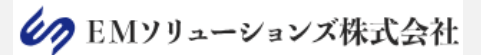


再編対象製品の拡大やグローバル拠点への展開を実現し
さらなるグループ連携強化を目指す

設置～保守サービスのワンストップサービス事業の強化

新規再エネ投資は厳しい事業環境

- EMソリューションズ(株)は景気の先行き不透明感から企業の再エネ投資が足踏みとなり、2年目の野心的目標は未達
- 長期的な脱炭素トレンドに変わりはなく、着実な案件獲得を目指す

老朽化・再エネ転換対応の工事で
付加価値を向上

- 南海電設(株)は高圧受電設備の更新需要を取り込み、関連工事の売上は堅調に推移
- 更新工事のみならず周辺電気設備一体の改修提案から工事までを可能にするソリューション体制の強化
- グループ内の事業集約を推進

2026中期経営計画 **事業戦略進捗****電気・情報インフラ関連 流通事業****成果** ソリューション事業の強化／サプライチェーンマネジメントの推進

SUNTEL

提案商材、ターゲット市場の拡充

- 映像ソリューションの堅調な売上や、ネットワークソリューションをはじめとして落雷対策・オーディオビジュアルソリューション・フィジカルセキュリティソリューションなどの新たな市場で売上が順調に伸長
- 海外メーカー製品による差別化や付加価値提案を実施

販売プロセスのデジタル化推進

- 自社ECサイト戦略の強化により、サイト閲覧数や引き合い数が大幅増
- 発注業務のデジタル化の継続推進と、各種データベースのさらなる精緻化を実行中

**電子部品関連 製造事業****成果** 海外ビジネスの拡大／ソリューションの強化

KGS 北川工業株式会社

海外販売・EMC対策支援の強化

- ASEAN・中国・欧州のEMC試験所とのアライアンス強化と新規アライアンス先の開拓
- 海外に展開している日系アライアンスメーカーを中心にEMC共同測定や対策支援を積極的に実施

重点市場の深耕と新規事業の創出

- 自動車市場を中心にEMCおよび熱対策カスタム製品の販売が堅調
- 腐食センサーの新製品開発や環境対応材料開発において機能性評価を産学連携により実施



腐食センサー

CONNECT!

～電気と情報をつなぐ～

NITO NITTO KOGYO GROUP

5. 参考資料

参考資料

- **資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応**
- **連結売上高・営業利益率の推移（四半期）**
- **3つの事業セグメントについて**
- **事業セグメント別の経営成績の推移（四半期）**
- **業績推移 設立～現在**
- **事業セグメント別の売上高構成比**
- **部門別の売上高構成比率（製造・工事・サービス事業）**
- **総資産・純資産・自己資本比率の推移**
- **ROE（自己資本当期純利益率）の推移（連結）**

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（現状評価①）

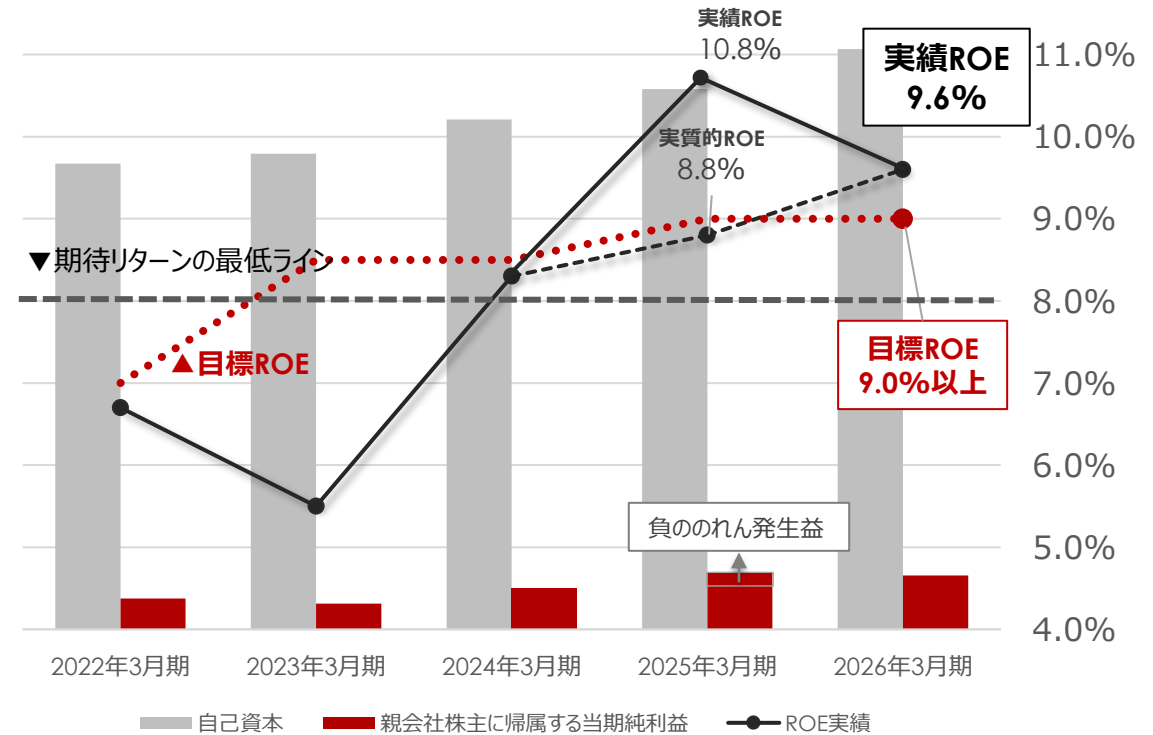
現状評価

- 当社の株主資本コストはCAPMおよび株式益回りからおよそ7.0～8.0%程度と認識
- 「2026中期経営計画」最終年度のROE目標値は9.0%以上に設定。前期は特別利益（負のれん発生益約24億円）の発生もあり、ROEは10.8%へ上昇したが、この特別利益を除いた実質的なROEは8.8%と認識
- 当期は各セグメントにおいて収益力が向上したことにより増益。ROEは9.6%となり目標値を上回る

【2026中期経営計画 財務目標】



【ROEの推移】



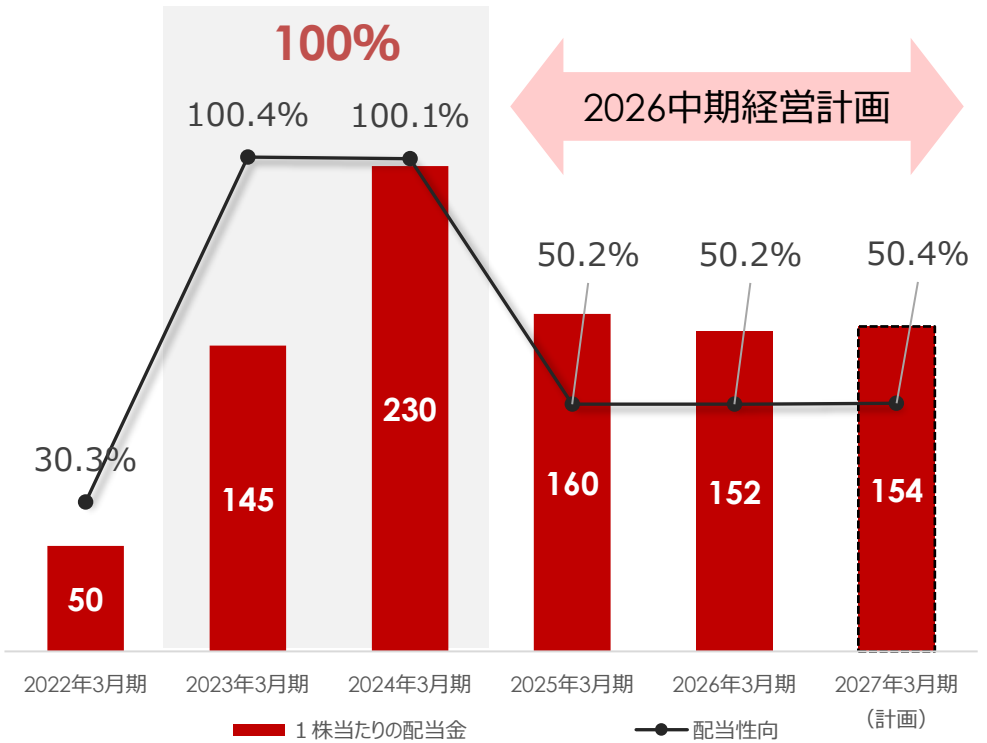
26年3月期実績（中計2年目時点）
連結売上高 1,957 億円、連結営業利益 154 億円、ROE 9.6 %

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（現状評価②）

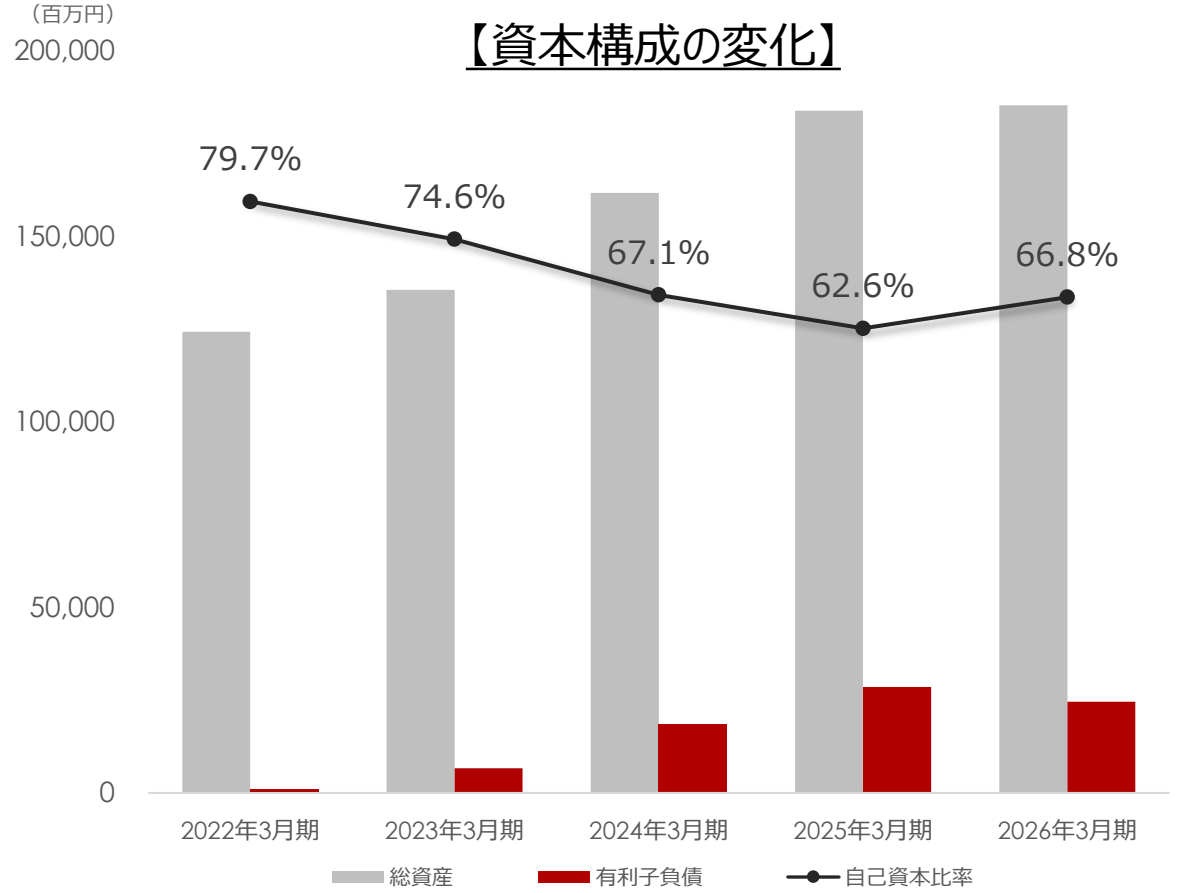
現状評価

「2026中期経営計画」では配当性向50%およびDOE4.0%を下限と定め、前中計に続いて積極的かつ安定的な株主還元方針を実施中。また、有利子負債を活用した成長投資の実行により財務レバレッジを高め、自己資本の抑制および資本効率の向上を図っている。

【配当性向と配当金の推移】



【資本構成の変化】



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（現状評価③）

現状評価

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組み内容」として掲げた項目の施策実行による収益性（ROE）の向上に加え、堅調な電気設備需要への市場期待等も追い風（PERの向上）となり、PBRは1.29倍まで上昇（2026年4月末時点：1.38倍）。
 長期成長ストーリーに則った成長の具現化は進展しており、引き続き、企業価値向上の過程を示していくことが重要。

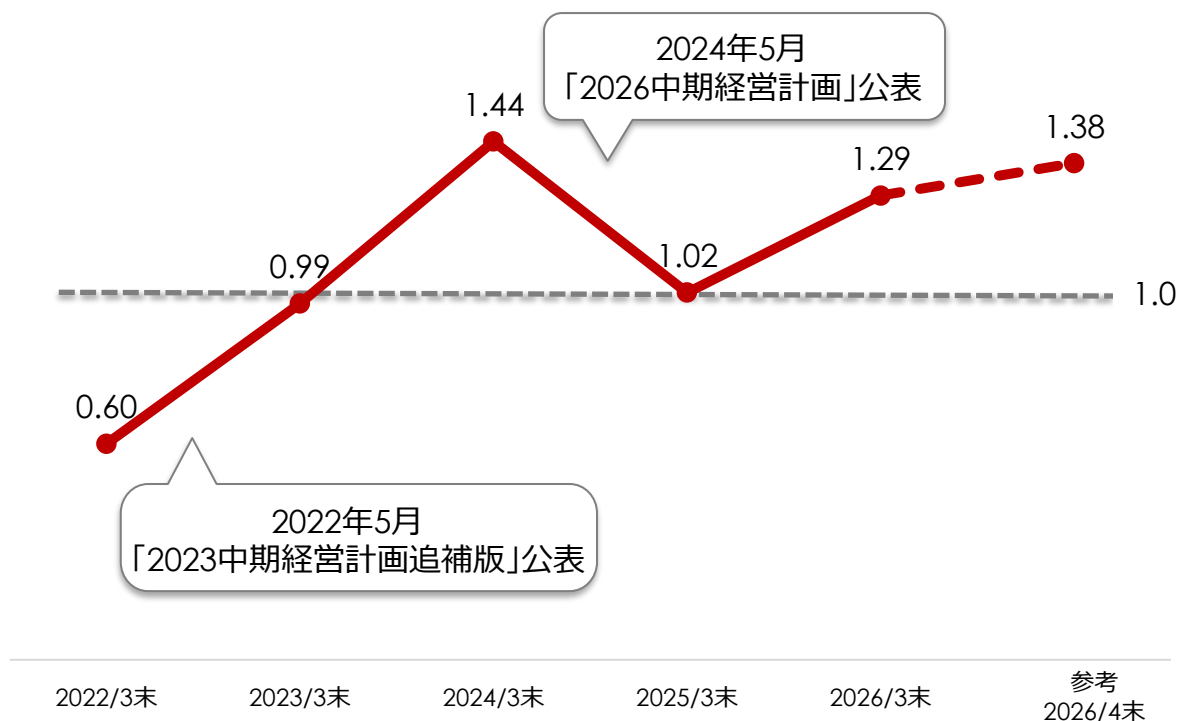
【資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組み内容】

- ✓ 2026中期経営計画の遂行による収益を伴う着実な事業成長
- ✓ サステナビリティに向けたESGの取り組み強化
- ✓ BSマネジメントの継続推進
- ✓ 安定した株主還元の継続
- ✓ 株式市場との継続した丁寧な対話の促進、積極的かつ適切な情報開示

【取り組み実績】

- ・テンパール工業（2025年4月グループ化）のシナジー創出
- ・データセンター需要に対応するための新工場建設の決定
- ・グループ各社における価格改定の市場浸透
- ・3期連続ベースアップ、健康経営優良法人4年連続認定
- ・自己株を活用した人的資本への投資（管理職向け株式報酬の導入）
- ・配当性向50%を堅持した高配当の継続
- ・機関投資家の皆様との面談における業界情報の丁寧な説明（部材規格変更による需給の混乱、その影響、見通し等）

【PBRの推移】



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（方針）

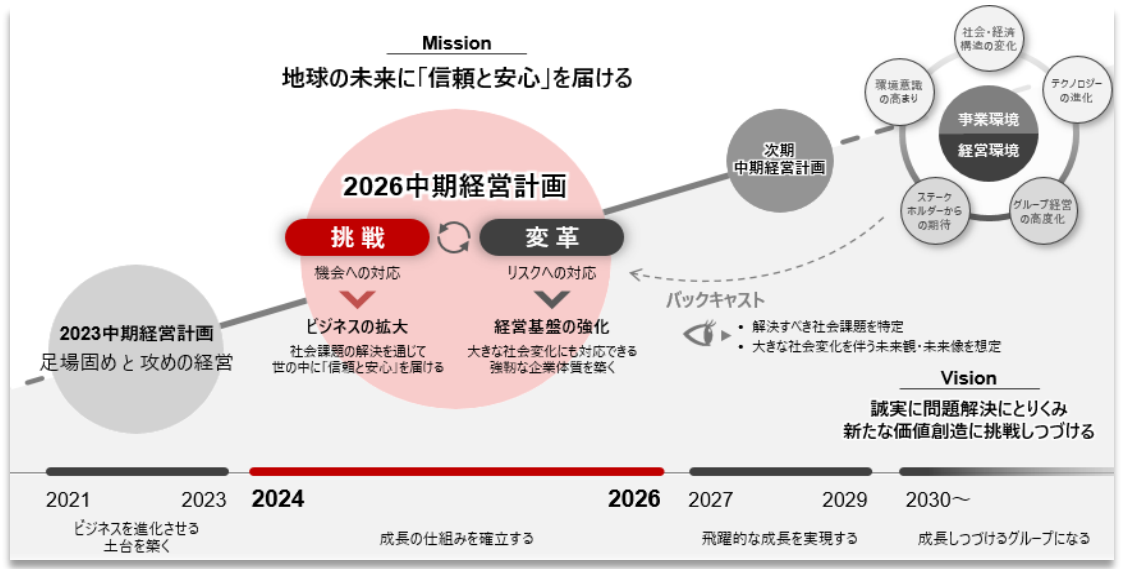
方針

2026中期経営計画で示した財務目標の達成やBSマネジメント継続によりROEのさらなる向上を目指すほか、丁寧なIR活動の継続による株主資本コストの低減を図ることや、事業戦略の着実な遂行および成長のさらなる「具現化」を行うことで企業価値向上のストーリーを示す。

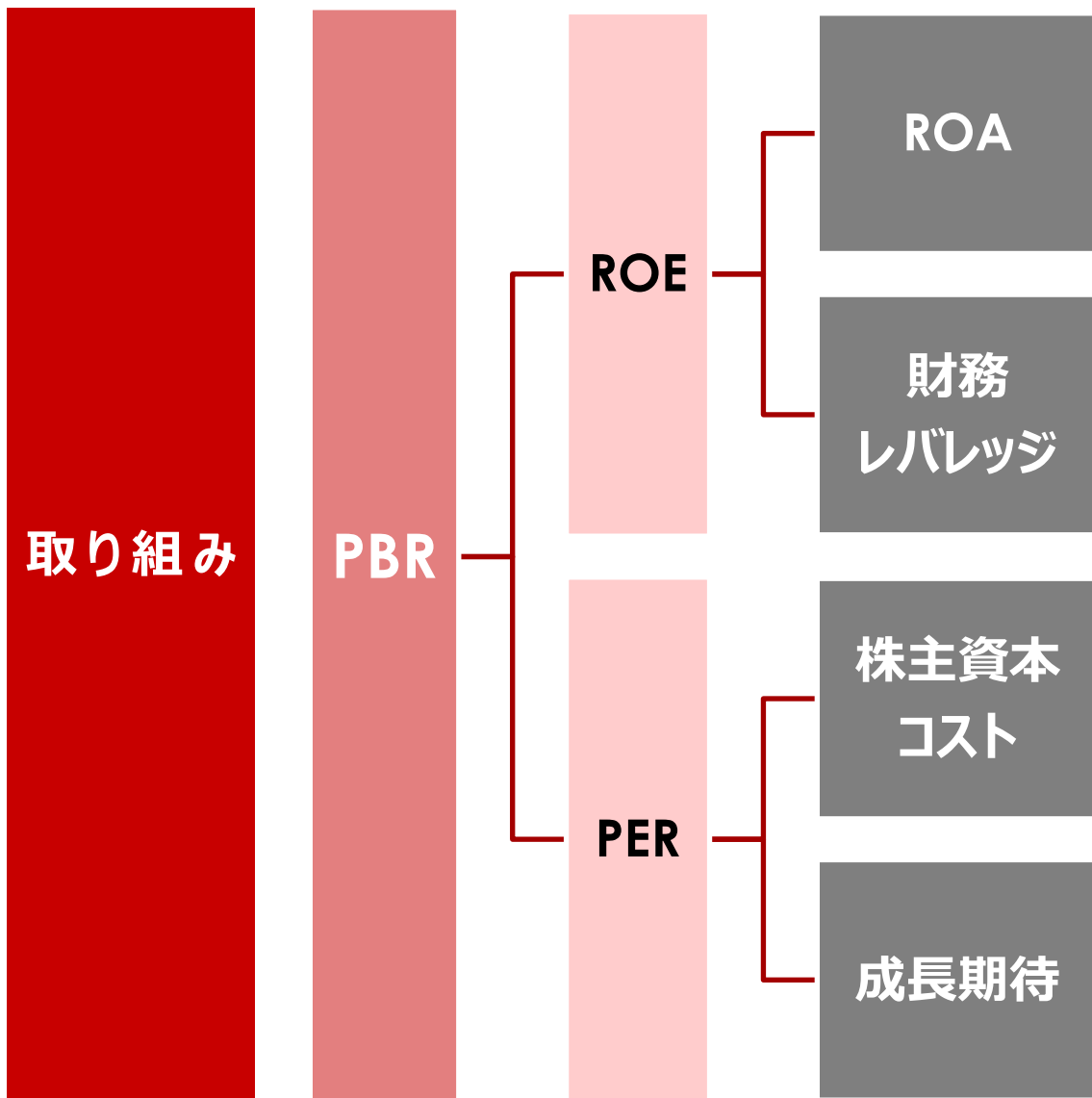
【2026中期経営計画 基本方針】



【長期成長ストーリー】



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（取り組み）



2026中期経営計画の遂行による収益を伴う着実な事業成長

例：適正な価格戦略、事業ポートフォリオマネジメント・事業戦略の推進、M&Aの活用

サステナビリティに向けたESGの取り組み強化

例：「働きがい」向上に向けた人的資本の拡充、持続可能な施設園芸に資するエネルギー管理技術の向上や脱炭素社会実現に向けた波力発電装置の実用化支援をととした社会課題解決への貢献

BSマネジメントの継続推進

例：有利子負債の積極的活用、機動的な自己株式の取得・消却政策保有株式のさらなる精査

積極的かつ安定的な株主還元継続

例：配当性向50%およびDOEの下限数値設定に基づく着実な還元

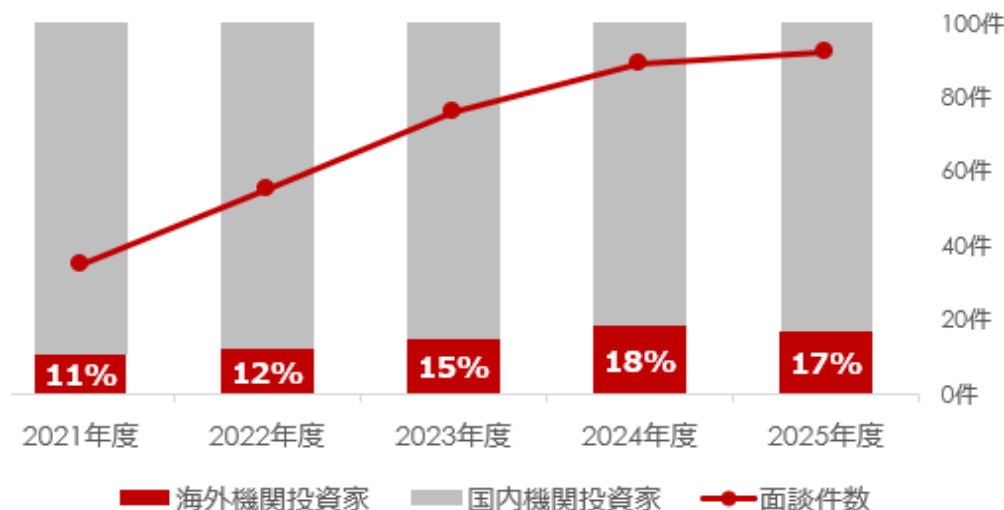
株式市場との継続した丁寧な対話の促進、積極的かつ適切な情報開示

例：国内外機関投資家への情報発信および個人投資家向け説明会の継続成長ストーリーのさらなる具現化

投資家の皆さまとの対話

2025年度の対話の状況

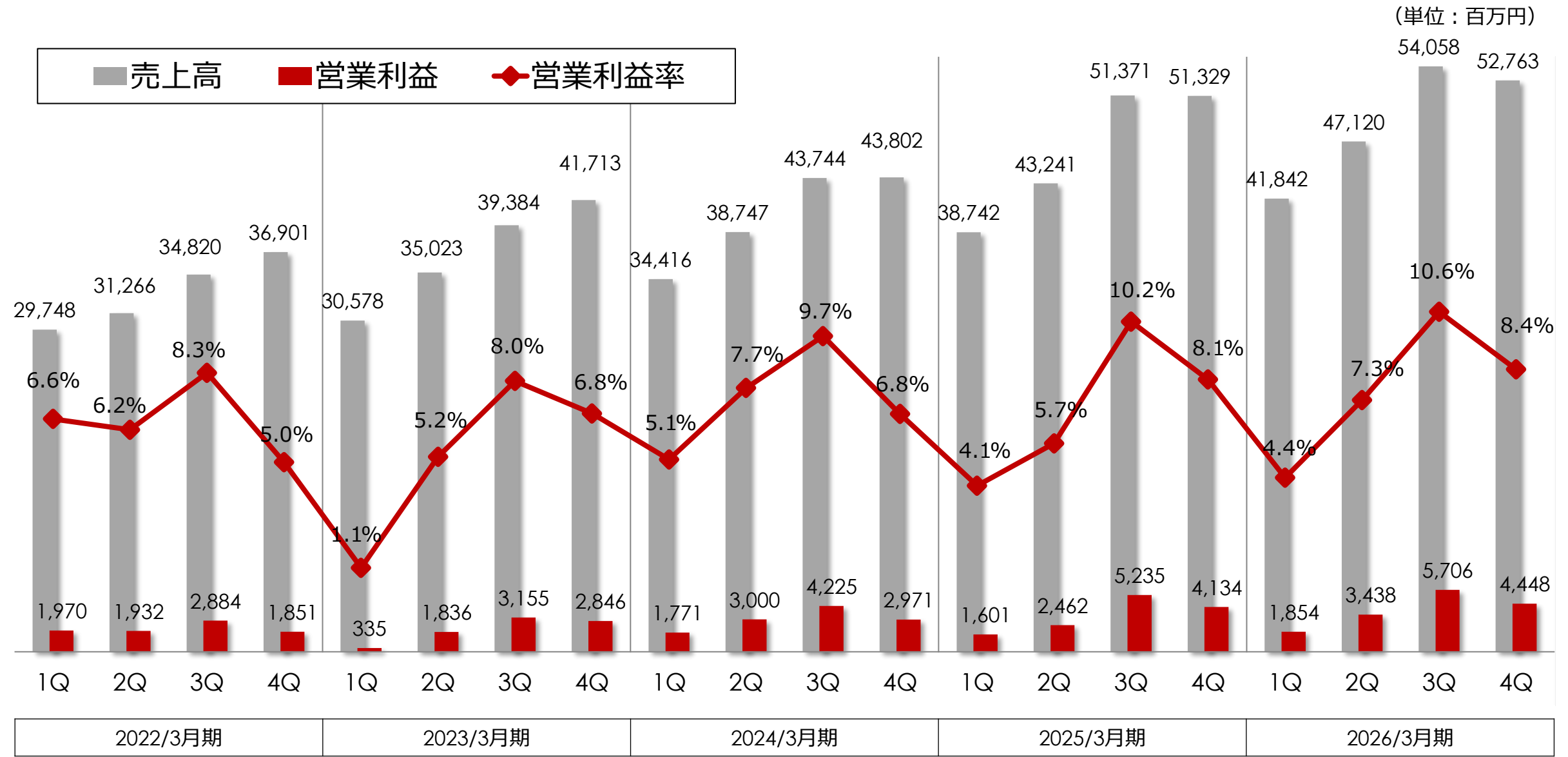
内容	頻度	対応者
決算説明会	年2回	取締役社長、経営管理本部担当取締役、総務部
機関投資家との個別ミーティング	四半期毎	経営管理本部担当取締役、総務部、経理部
個人投資家説明会	年1回	経営管理本部担当取締役



【参加した投資家の担当分野】
 ・アナリスト
 ・ファンドマネージャー
 ・ESG担当
 等

上記の機会を通じ、業績、中期経営計画、還元方針のほか、製品規格改定による事業環境の変化等について対話を深めるとともに、投資家の皆さまとの対話で得られた情報は関係部門へ展開するほか、経営会議等にて報告し他の取締役へ情報共有しています。

連結売上高・営業利益率の推移 (四半期)



3つの事業セグメントについて

エネルギー



電気・情報インフラ関連 製造・工事・サービス事業

配・分電盤、制御盤等の設計、製造、販売および電気設備の設置、保守等の工事事業



高圧受電設備



配・分電盤



キャビネット



システムラック



ブレーカ



充電スタンド



通信設備工事



情報通信 オートメーション

電気・情報インフラ関連 流通事業

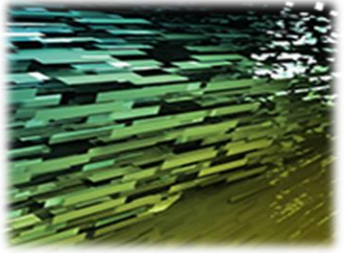
情報通信機器および部材の仕入、販売等



ネットワークカメラ



情報セキュリティ関連製品



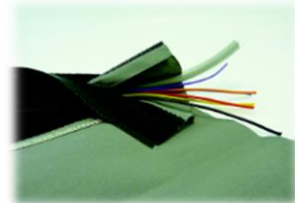
高速ネットワーク機器

電子部品関連 製造事業

電磁波環境コンポーネント、精密エンジニアリングコンポーネント等の製造、販売



フェライトコア



ケーブルシールド

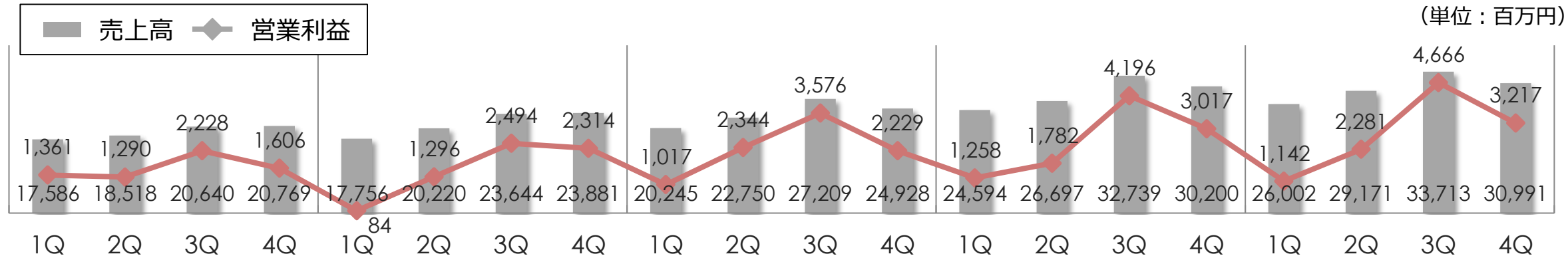


バンド

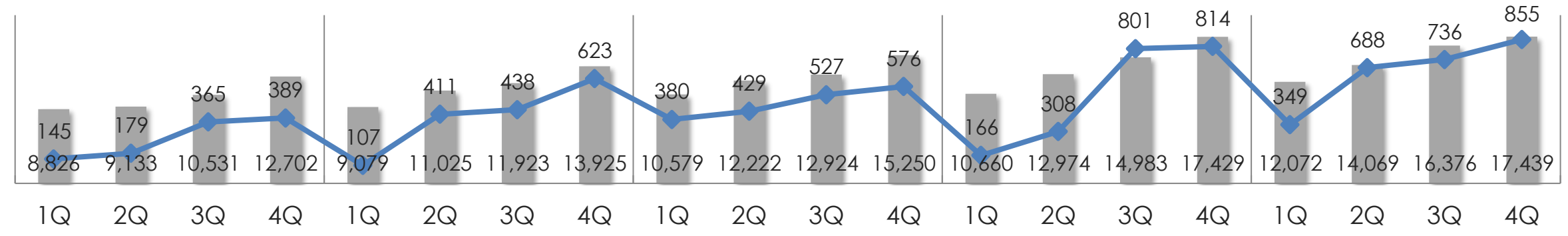
事業セグメント別の経営成績の推移（四半期）

(単位：百万円)

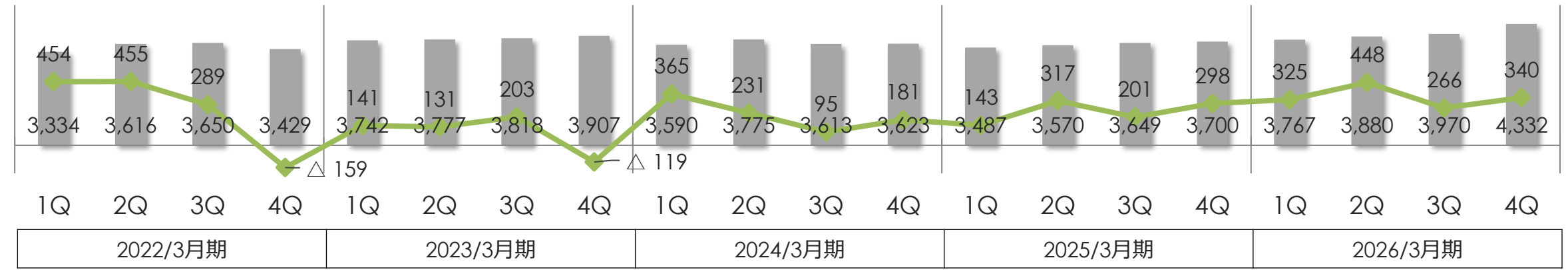
製造・工事・サービス事業



流通事業

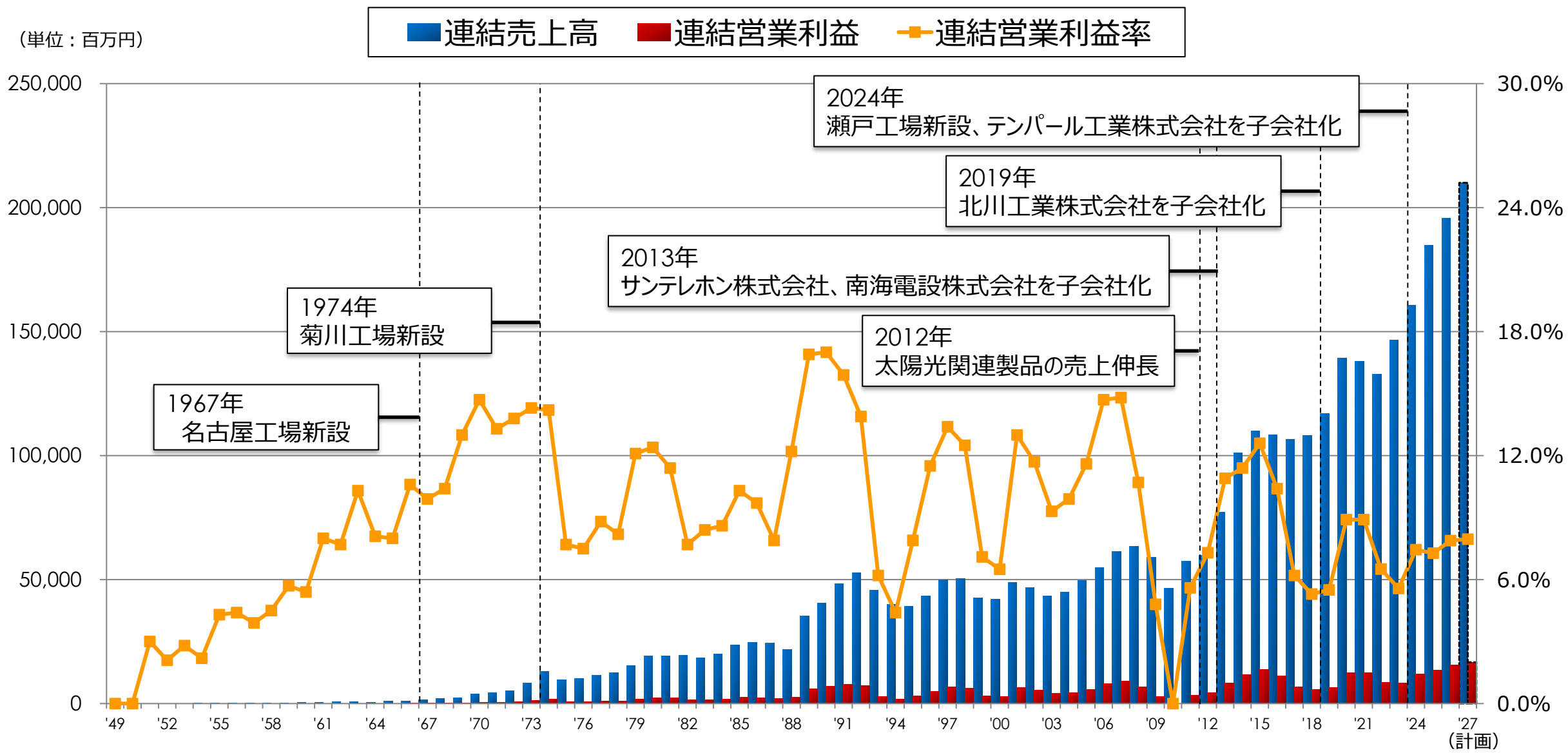


電子部品関連製造事業



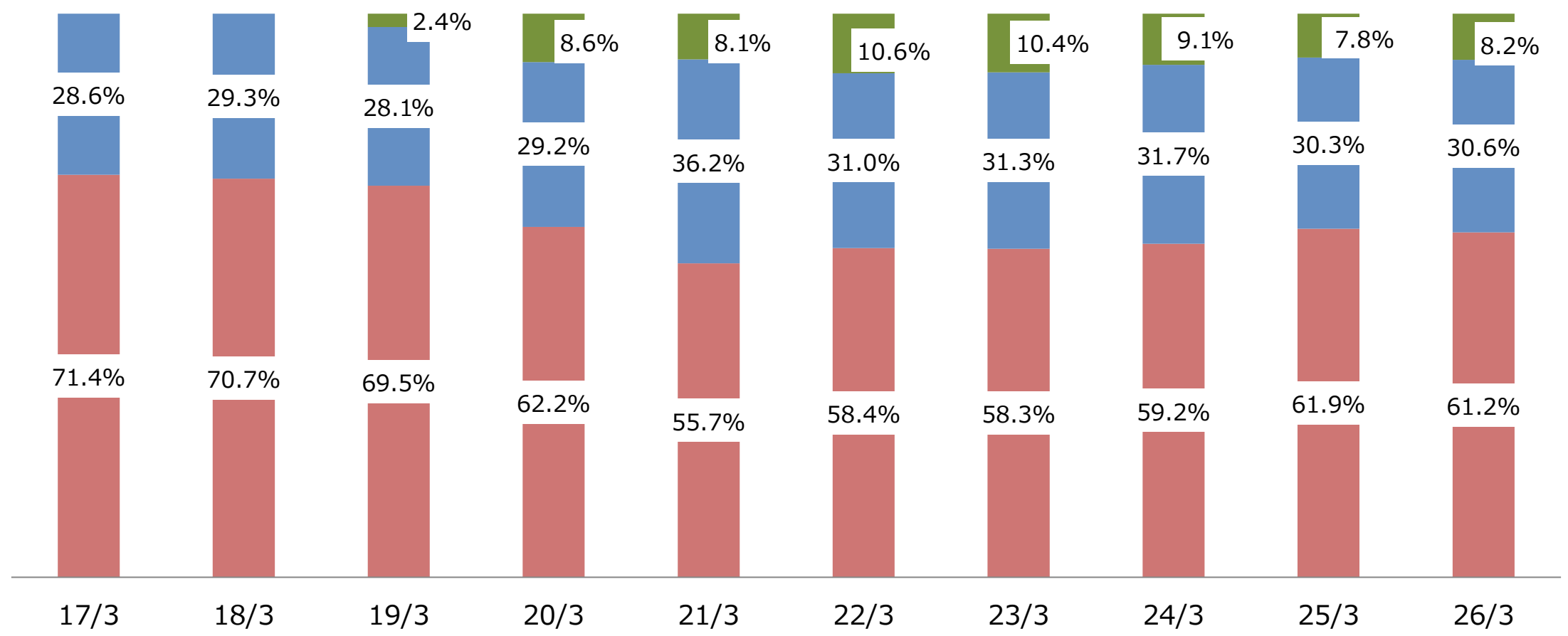
業績推移 設立～現在

2026年3月期
通期



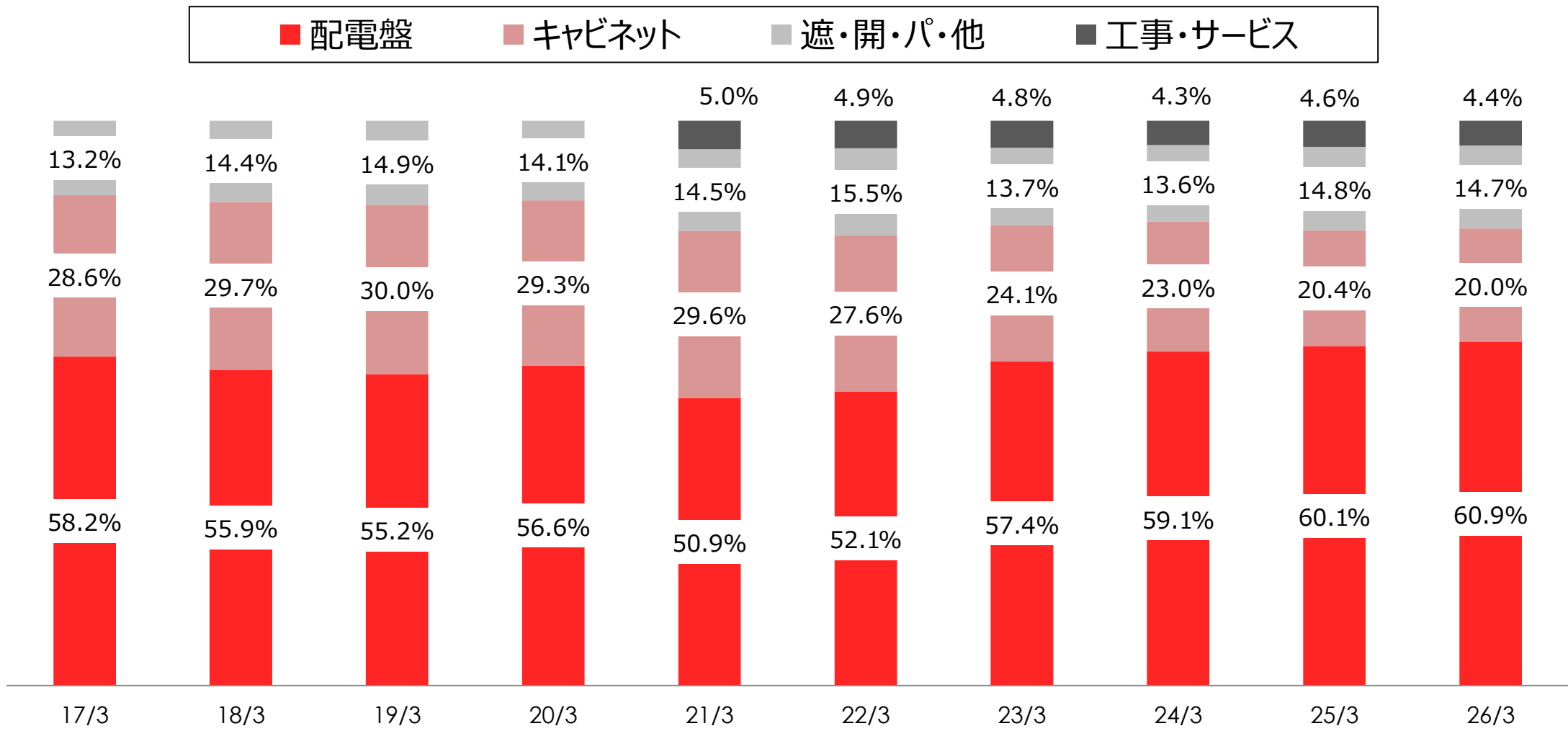
事業セグメント別の売上高構成比

■ 製造・工事・サービス事業 ■ 流通事業 ■ 電子部品事業



※新セグメントに合わせて修正した数字となるため過去の他開示書類と数字が一致しません。
四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

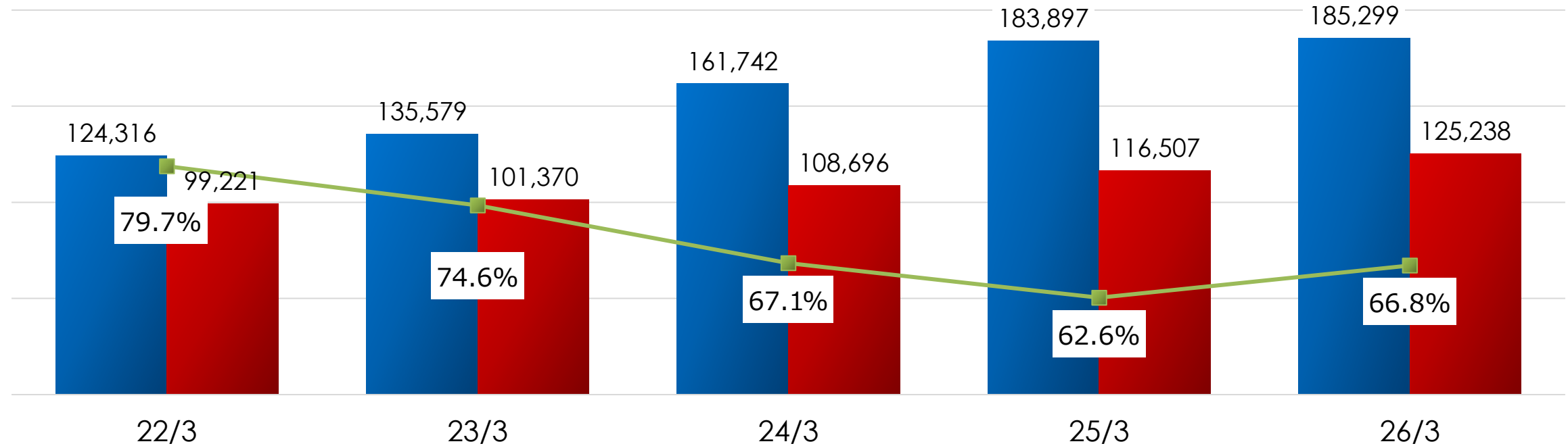
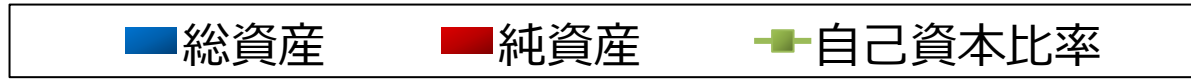
部門別の売上高構成比率（製造・工事・サービス事業）



※21/3期の数字は、新セグメントに基づき算出した数字を表示しています。
 20/3期以前の「配電盤」、「キャビネット」は旧「配電盤」と旧「キャビネット」の数字をそのまま表示しています。
 20/3期以前の「遮断器・開閉器・パーツ・その他」は、旧「遮断器・開閉器」と旧「パーツ・その他」を合算した数字を表示しています。
 四捨五入の関係で数値の合計が一致しないことがあります。

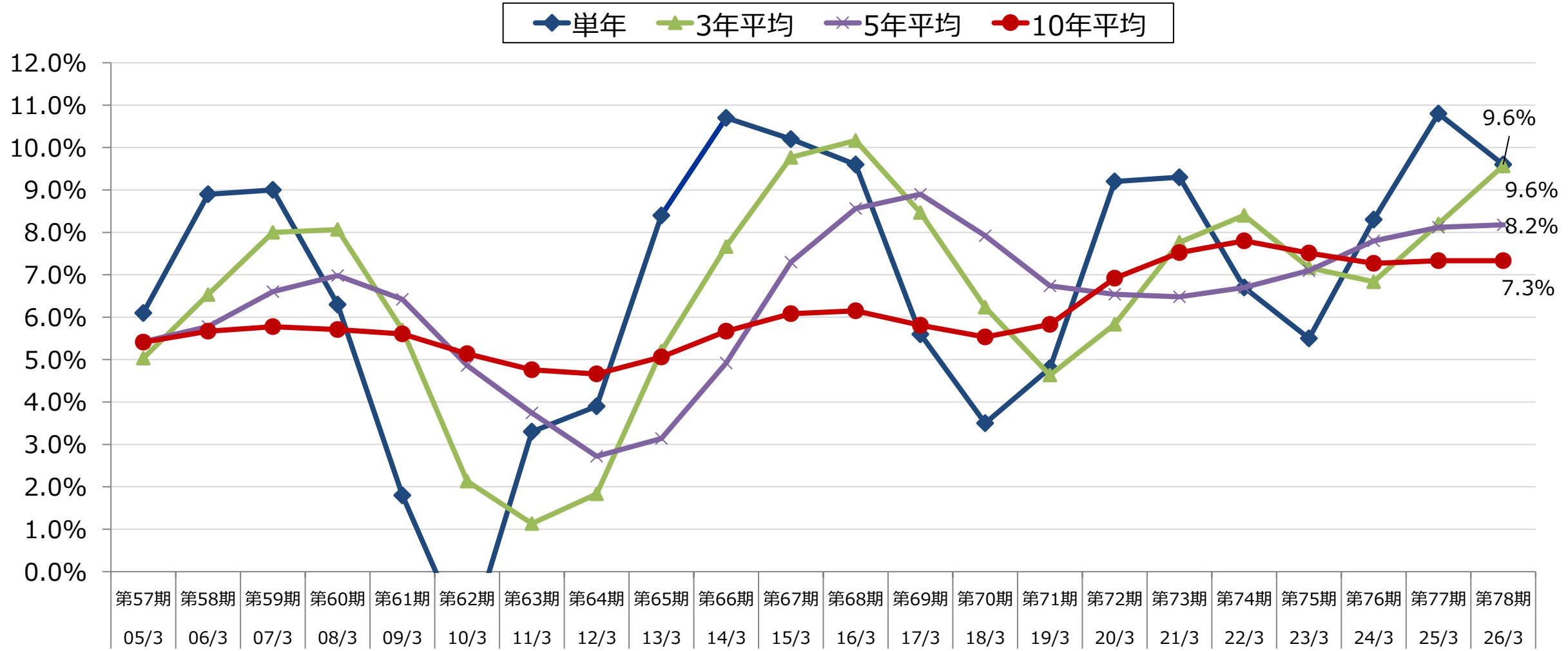
総資産・純資産・自己資本比率の推移

(単位：百万円)



	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3
総資産	124,316	135,579	161,742	183,897	185,299
純資産	99,221	101,370	108,696	116,507	125,238
自己資本比率		74.6%	67.1%	62.6%	66.8%

ROE（自己資本当期純利益率）の推移（連結）



最終赤字

The logo for Nitto Kogyo Group features the word "NITO" in a bold, red, sans-serif font. The letter "i" is stylized with a red dot above it. To the right of "NITO", the words "NITTO KOGYO GROUP" are written in a bold, black, sans-serif font.

NITO NITTO KOGYO GROUP